※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　総合学科

教科	工業	科目	インテリア実習Ⅰ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	デザインの色彩						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア科では、快適な生活を送るために必要な家具等の制作を通して、インテリアのデザインや木工作品の制作、加工を学習します。この授業では、インテリアのデザインや木工作品の制作、加工に関する基礎的・基本的な技術、安全に配慮した道具の使い方、目的とする形状に加工する技術を身に付けます。
刃物や木工機械を使用します。安全に配慮し、担当の先生の指示をよく聞いて作業を進めるようにしてください。

2　学習の到達目標

・基礎的な木材の種類や加工方法、インテリアのデザインを理解し、関連する加工技術や工具の使い方等の技術を身に付ける。
・木材の加工やインテリアのデザインに関する課題を発見し、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現している。
・インテリアのデザインや木材の加工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて主体的に取り組んでいる。他者と協力して、工業の発展に主体的に取り組んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b：思考・判断・表現	C:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。	インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。	インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基本操作・デザイン	実習オリエンテーション 安全教育 道具や加工機械の使い方 材料の加工方法 作品のデザイン	a:インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ｂ：インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深めている。 c:　インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 自己評価 相互評価	作品 授業態度 自己評価 相互評価	作品 授業態度 自己評価 相互評価 発表
2	木材加工	加工方法や機械等の練習 作品制作	a:インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ｂ：インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深めている。 c:　インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 自己評価 相互評価	作品 授業態度 自己評価 相互評価	作品 授業態度 自己評価 相互評価 発表

※令和４年度以降入学生用

3	木材加工	材料の接着と研磨 作品の塗装や仕上げ プレゼンテーション	a:インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ｂ：インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深めている。 c:　インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 自己評価 相互評価	作品 授業態度 自己評価 相互評価	作品 授業態度 自己評価 相互評価 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度